

修了生の活躍が夕刊デイリーに掲載されました！

(夕刊デイリー 第17735号 2020年12月3日(木) 9面掲載)

児玉 潤さん (テクニカルオペレーション科 平成26年6月修了生)

日向・細島地区立地企業

5

アキタ製作所 児玉潤さん(34)

わが社の ホープ

日向・細島地区には県・日向市の立地認定を受けた魅力ある企業が数多く存在する。そのうちの1社の若手社員に仕事内容や将来の夢、会社自慢などを聞いた。(週1回掲載)

「高専動機と、現在の仕事内容を教えてください。」

「25歳で千葉から帰郷し、地元の鉄工所で働いていたのですが、あるとき、手にはがをして溶接の仕事が得意になりました。導引形で金属を扱う仕事に就くために延岡の職業訓練校に通ったことが転機となりました。食品工場など向けにベルトコンベヤーなどの搬送機を作っている今の会社から、『一度見学に来ませんか』と誘いを受けたのが縁で、お世話になることになりました。」

入社7年目になります。が、コンベヤー関係の部品製作が主な仕事です。製造二課の課長補佐として、若手に作業の流れや、



こうした方がいよほどと技術的なアドバイスも

「と、なかなかいろいろ

「が、楽しさを感じますか。一番は、ものづくりの

「楽しいですね。みんながコミュニケーションを取りながら、精魂込めて作り上げたときは、本当に達成感でいっぱいです。」

「会社がいいところを教えてください。」

「溶接技術で日本一になった方もおり、そうしたベテランと若手が切磋琢磨せつさたくまじながら腕を磨いています。今年4月には工場に女性社員が1人入り、より職場に活気が出てきた気がします。地元の高校生に、ものづくりの楽しさに触れてもらう機会も提供しているんですよ。」

「また訓練校で習った基本的なことをやっている段階。先輩方を見習ってもっともつと技術力を高め、よりいいものを作りたいですね。」

「今年2月に新社屋が完成しました。新設備の導入に併せて、作業スペースや高さも確保され、快適な環境で仕事ができています。秋には家族も参加しての焼き肉大会があります。私も妻と子ども2人連れで

「アキタ製作所で働いてみたいと思っている方へエールをお願いします。」

「少子高齢化で企業の人手不足が深刻化しています。自動化・省力化が進む中、われわれのような装置メーカーが力になる機会は今まで以上に増えてくれると思います。私のようなUTAIンナーにも優しい会社です。ぜひ一緒に、ものづくりに励みましょう。」

「アキタ製作所で働いてみたいと思っている方へエールをお願いします。」

楽しいモノづくり 新社屋完成で快適環境

【プロフィール】日向高専時代はサッカー部に所属し、今も親しい仲間とトータルで汗を流す。日向市在住。